

**2020年度
(令和2年度)**

ゆうキャンパス 単位互換

目次

1. ゆうキャンパスについて	3
2. ゆうキャンパス単位互換とは	3
3. 履修（令和2年度）について	4
4. ゆうキャンパス加盟機関の紹介 《履修申込み・お問合せ先》	5
5. 「ゆうキャンパス単位互換」履修学生交通費支援制度	7
6. 単位互換科目一覧	

（次の各大学等の単位互換科目は別ファイルにてご覧ください。）

羽陽学園短期大学

鶴岡工業高等専門学校

東北芸術工科大学

東北公益文科大学

東北文教大学

東北文教大学短期大学部

放送大学山形学習センター

山形県立保健医療大学

山形県立米沢栄養大学

山形県立米沢女子短期大学

山形大学

1. ゆうキャンパスについて

ゆうキャンパスは、平成16年4月に設立した、山形県内13の高等教育機関と山形県の連合組織「大学コンソーシアムやまがた」の愛称です。各機関が連携し、情報発信、多様な学習需要への対応、地域や各大学、学生間での連携交流に関する事業を展開しています。



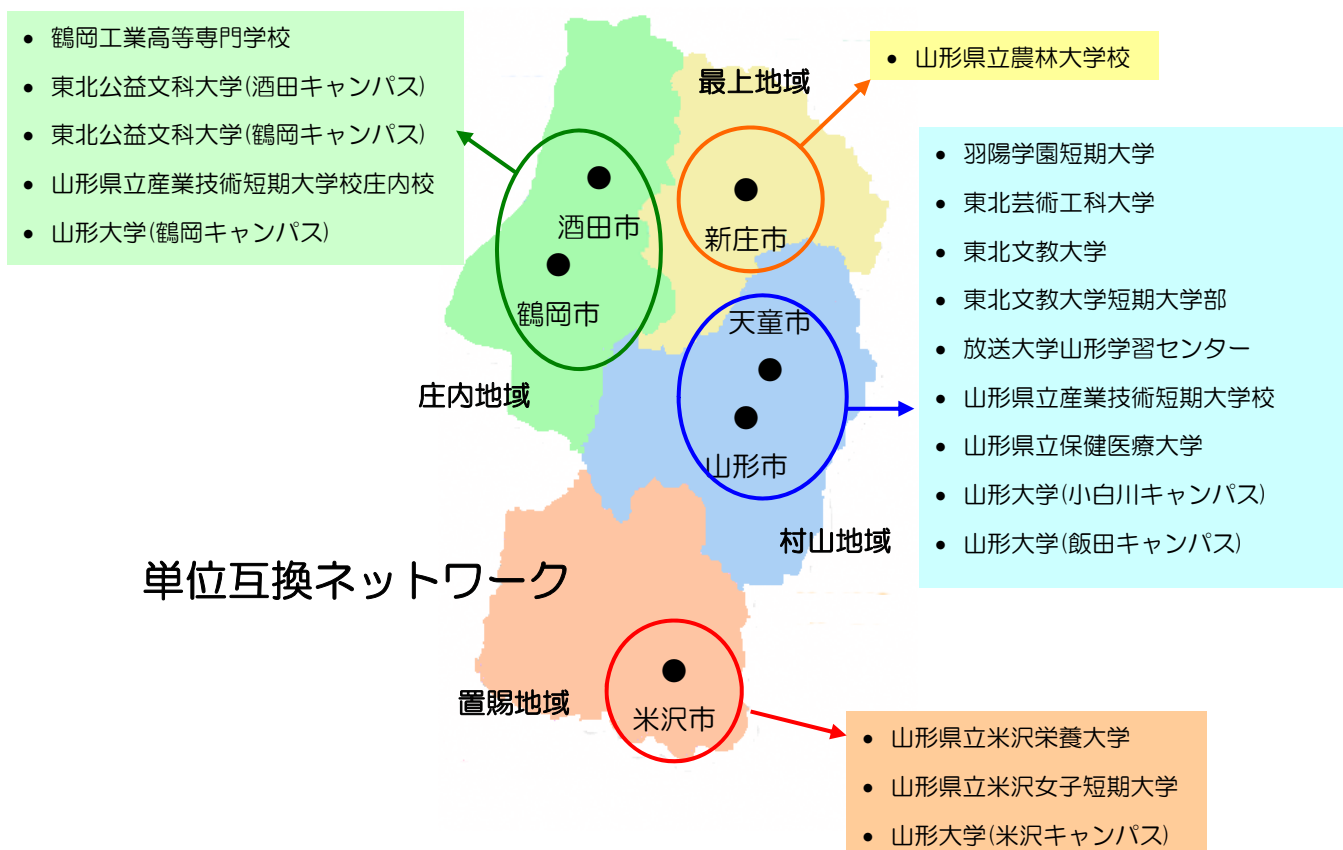
単位互換・その他諸事業については、ホームページをご覧ください。
<http://consortium-yamagata.jp/>

2. ゆうキャンパス単位互換とは

みなさん、他大学の授業を受けてみませんか？
履修のお問い合わせ・申込みについては、所属大学等の教務担当まで！

単位互換とは、大学等間で協定を結ぶことにより、他の大学等で修得した単位を所属する大学等の単位として認定するものです。各大学等の交流と協力を推進し、教育研究の活性化と教育課程の充実を図ります。

ゆうキャンパス単位互換では、ゆうキャンパスに加盟している山形県内11の高等教育機関の授業を受けることができます。ゆうキャンパスの単位互換科目には、それぞれの大学の様々な分野の授業がたくさんあります。これを利用することで、履修できる科目の選択肢が広がります。また、大学等の枠を超え、異なる大学等の教員や学生との交流を図ることができます。



3. 履修(令和2年度)について

履修を希望する場合は、履修を希望する授業を開講する機関の履修届締切日までに「単位互換履修生出願票」を提出する等の手続きが必要です。以下の日付に関わらず、早めにお問合わせ・お申込みください。

- ・ 1年次（鶴岡工業高等専門学校は4年次）から履修できます。
- ・ 山形県立産業技術短期大学校、山形県立産業技術短期大学校庄内校は開講可能な科目はありません。学生の派遣のみ行います。
- ・ 山形県立農林大学校は開講可能な科目はありません。学生の派遣のみ行います。

履修手続き等のスケジュール

前期（公益大は春学期）	オリエンテーション	授業開始日	履修届締切日
羽陽学園短期大学	4月6日（月）	4月7日（火）	4月7日（火）
鶴岡工業高等専門学校	—	4月7日（火）	4月21日（火）
東北芸術工科大学	4月20日（月）～22日（水）	4月27日（月）	5月1日（金）
東北公益文科大学	1年生 4月6日（月）～8日（水） 2年生 4月2日（木） 3・4年生 4月3日（金）	4月16日（木）	4月14日（火）
東北文教大学	1年生 4月7日（火）～9日（水）	4月13日（月）	4月27日（月）
東北文教大学短期大学部	1年生 4月7日（火） 2年生 4月3日（金）	4月13日（月）	4月27日（月）
放送大学山形学習センター	中止	4月1日（水）	2月28日（金）
山形県立産業技術短期大学校	4月10日（金）	4月13日（月）	—
山形県立産業技術短期大学校庄内校	4月7日（火）	4月8日（水）	—
山形県立農林大学校	1年生 4月10日（金） 2年生 4月6日（月）	1年生 4月10日（金） 2年生 4月6日（月）	—
山形県立保健医療大学	4月6日（月）、7日（火）、 9日（木）	4月3日（金）	4月13日（月）
山形県立米沢栄養大学	4月3日（金）～7日（火）	4月22日（水）	4月21日（火）
山形県立米沢女子短期大学	4月3日（金）～10日（金）	4月27日（月）	4月24日（金）
山形大学	4月6日（月）～8日（水）	4月9日（木）	4月20日（月）

後期（公益大は秋学期）	オリエンテーション	授業開始日	履修届締切日
羽陽学園短期大学	—	1年生 9月1日（火） 2年生 10月5日（月）	後期は受入中止
鶴岡工業高等専門学校	—	10月1日（木）	10月15日（木）
東北芸術工科大学	—	9月28日（月）	後期は受入中止
東北公益文科大学	—	10月5日（月）	10月1日（木） 山形県内に居住していない方や履修を希望する科目が定員を超過する場合等については、受け入れをお断りする場合があります。
東北文教大学	—	10月2日（金）	後期は受入中止
東北文教大学短期大学部	—	9月25日（金）	後期は受入中止
放送大学山形学習センター	9月29日（火）	10月1日（木）	8月31日（月）
山形県立産業技術短期大学校	—	10月5日（月）	—
山形県立産業技術短期大学校庄内校	—	10月1日（木）	—
山形県立農林大学校	—	10月1日（木）	—
山形県立保健医療大学	—	9月23日（水）	後期は受入中止
山形県立米沢栄養大学	—	10月1日（木）	後期は受入中止
山形県立米沢女子短期大学	—	10月1日（木）	後期は受入中止
山形大学	—	10月1日（木）	後期は受入中止

4. ゆうキャンパス加盟機関の紹介《履修申込み・お問合せ先》

他大学等の授業を受けるには、所属大学と、受けたい授業のある大学との両方で手続きが必要です。履修申込みやお問い合わせは、次に紹介してあるご自分の大学等の教務担当係にお尋ねください。

■ 羽陽学園短期大学

〒994-0065 天童市大字清池 1559 教務担当：023-655-2385（教務課）

羽陽学園短期大学は、小規模校ならではの特性を生かし、徹底した少人数による教育を実践しています。

幼児教育科は幼児教育コースと福祉コースに分かれ、それぞれ、理論から実践への流れを重視した多様なカリキュラムが生まれ、より専門性が深められます。自ら課題を発見し、自ら課題を解決し得る能力を備えた人間性豊かな人材を養成しております。

■ 鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田 104 教務担当：0235-25-9025（学生課）

高等学校や大学の教育課程とは異なり、中学校卒業後の早い段階から実験・実習・実技等の体験的な学習を重視した教育を行い、製造業を始めとする様々な分野において創造力ある技術者として将来活躍するための基礎となる知識と技術、さらには生涯にわたって学ぶ力を確実に修得させることを目的としています。

【基本教育目標】

1. 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
2. あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
3. 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に活用できる能力を培う
4. 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

■ 東北芸術工科大学

〒990-9530 山形市上桜田 3-4-5 単位互換担当：023-627-2010（教学課）

芸術学部とデザイン工学部の2学部からなり、人間の芸術的良心と限りない知により生み出されるアートとデザイン、この創造の営みを通じ、決して様式や技法の修得に終わるのではなく、何をすべきかを考え、何を表現すべきかに迫る「表現者の教育」を行います。社会において芸術、デザインの果たす役割は何か。問題意識から社会性と自主性を学び、育む実践的な人間教育の場として存在します。

■ 東北公益文科大学

〒998-8580 酒田市飯森山 3-5-1 教務担当：0234-41-1116（教務学生課）

公益学部公益学科の中には、「経営」「政策」「地域福祉」「国際教養」「観光・まちづくり」「メディア情報」の6つの専門コースがあります。

4年間の学びを通して、グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップを持って果敢に取り組む人材を育成しています。

■ 東北文教大学・東北文教大学短期大学部

〒990-2316 山形市片谷地 515 教務担当：023-688-2717（学務課）

本学は、「敬・愛・信」の建学の精神に則り、人間性が豊かで、社会に積極的に貢献できる実践的な人材の育成を目的としています。そのため、資格取得など実践的能力の修得と人間や社会への理解を深める学習を組み合わせ、実社会で役立つ能力とそれを支える思考力や応用力を育成するとともに、人間性を高める教育にも力を入れています。

■ 放送大学山形学習センター

〒990-8580 山形市城南町 1-1-1 教務担当：023-646-8836（教務担当）

放送大学は、生涯学習機関として広く社会人等に大学教育の機会を提供することを目的とした、誰にでも開かれた大学です。若い人からシニアまで幅広い世代の様々な職業の学生が、各自の学習の目的・目標をもって学んでいます。授業科目は300を超え、BS放送、インターネットの視聴やオンライン授業により、いつでもどこでも学習ができます。このほか学習センターでは面接授業（スクーリング）を行っています。また、山形学習センターでは東北公益文科大学図書館（酒田市）、山形大学工学部図書館（米沢市）、致道ライブラリー（鶴岡市）、新庄市立図書館（新庄市）に地域学習室を設けております。

■ 山形県立産業技術短期大学校

本校 〒990-2473 山形市松栄 2-2-1 教務担当：023-643-8431（教務学生課）

山形県立産業技術短期大学校では、実践技術者養成のため、多くの教員を配置し、個人指導を中心とし、きめ細かく指導する体制をとっています。「ものづくり」を学ぶための設備機器類が充実しており、授業の約半分は実験・実習で占められ、理論に裏付けられた実践力を身につけることに重点をおいています。卒業生の大部分は県内優良企業に就職し、高い評価を受けております。卒業後も資格を取りたい、勉強したいという意欲を持った方に対しては、1年課程の産業技術専攻科や各種公開講座を開設しておりますので、教員との関係を継続することもできます。

■ 山形県立産業技術短期大学校庄内校

〒998-0102 酒田市京田 3-57-4 教務担当：0234-31-2300（教務学生課）

山形県立産業技術短期大学校庄内校では、2年間のカリキュラムで幅広い専門知識や最新の技術を習得し、企業が求める即戦力となるプロフェッショナルを育成します。学費が安く、就職率もほぼ100%を達成。企業で役立つ各種資格取得が可能です。「ものづくりのセンスと高度の技術を身に付けた実践的技術者」と「優れた経営センスを持つエネルギーシユな経済人」を育成するため、徹底した少人数教育により学生の個性と能力を伸ばす教育を実施しています。

■ 山形県立農林大学校

〒996-0052 新庄市大字角沢 1366 教務担当：0233-22-1527（教務学生担当）

山形県立農林大学校は、稲作、果樹、野菜、花き、畜産、農産加工、林業の計7学科体制で、少人数できめ細やかな教育を行います。それにより、学生は将来の農林業を担うにふさわしい資質・能力を身につけます。

自然豊かな環境のもと、学生各人が圃場一区画やハウス一棟を担当した米や野菜の栽培実習、新設の乳製品加工施設等を利用した加工実習、校外の実習林での伐倒実習など、高度で実践的な学習を行うことができます。在学中には、大型特殊自動車免許（農耕用）、家畜人工授精師、高性能林業機械等の実用的な資格が取得できます。

■ 山形県立保健医療大学

〒990-2212 山形市上柳 260 教務担当：023-686-6606（教務学生課）

本学は保健医療学部の1学部に看護学科、理学療法学科、作業療法学科の3学科を開設しています。保健医療に携わるこれらの学科の特色について相互に理解を深め、メンバーシップを養い、将来の保健医療・福祉の実践の場でチームの一員として自分の役割を果たせる人材を育成できるように、総合基礎教育科目群及び専門基礎教育科目群については共通で学ぶ科目を設けるなどして、「幅広い教養と豊かな知識と技術を持ち、専門職としての理念に基づき行動できる人材を育成する」ことを目的としております。

■ 山形県立米沢栄養大学

〒992-0025 米沢市通町 6-15-1 教務担当：0238-22-7340（教務学生課）

山形県立米沢栄養大学は、山形県初となる管理栄養士を養成する4年制大学です。豊かな人間性と、幅広く深い教養と知識のうえに、栄養に関する高度な専門知識と専門技術を身に付けた国際的な視野を有する人材を育成します。1学年の定員が42人と小規模な単科大学ですので、教員と学生の距離が近く、きめ細かで丁寧な教育を行ってまいります。

■ 山形県立米沢女子短期大学

〒992-0025 米沢市通町 6-15-1 教務担当：0238-22-7340（教務学生課）

山形県立米沢女子短期大学では、少人数クラスでの対話・討論型や双方向型の教養ゼミ、また、地域社会で活躍されている方々を講師陣にする総合教養講座など、専門的な知識・技能の伝達にとどまらず社会の変化や時代の進展に柔軟に対応できる人材を育てます。そのため、自分で課題を見つけ、自分で考え、そして主体的に判断し、よりよく問題を解決する課題探求能力の育成を重視しています。

■ 山形大学

小白川キャンパス〈人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部〉…〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

担当：023-628-4405（教務課（学務・免許担当））

飯田キャンパス〈医学部〉…〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 担当：023-628-5051（学務課）

米沢キャンパス〈工学部〉…〒992-8510 米沢市城南町 4-3-16 担当：0238-26-3015（学務課（教育支援担当））

鶴岡キャンパス〈農学部〉…〒997-8555 鶴岡市若葉町 1-23 担当：0235-28-2809（学務担当）

山形大学は、特定の専門的・職業的能力を有するだけではなく、総合的な判断力と豊かな人間性を併せ持った人材を育成します。これらの能力は共に等しく重要と考え、基盤共通教育においては、あらゆる専門分野に共通する学問実践の基礎となる技法と知識を習得させ、最終的に学生自身において専門教育と統合されることを理想としています。

5. 「ゆうキャンパス単位互換」履修学生交通費支援制度

大学コンソーシアムやまがたは、遠隔地で開講する単位互換授業を履修する学生の経済的負担を軽減するために、交通費を支援することを目的とした「ゆうキャンパス単位互換」履修学生交通費支援制度を設けております。「ゆうキャンパス単位互換履修学生に係る交通費支援制度実施要項」に基づき、交通費を支援します。手続き等については、所属大学等の教務担当窓口で確認してください。

Q1. 対象者は？

A1. 単位互換協定加盟機関に在学する学生のうち、ゆうキャンパス単位互換協定による正式な手続きを経て、他大学等で開講される単位互換の科目を履修する学生です。

Q2. 支援内容は？

A2. 支援対象者が在学する大学等から単位互換開講大学等までの移動に伴って生じた交通費を支給します。ただし、同一市内での移動は対象外とします。

例えば 東北公益文科大学（酒田市）から山形大学（山形市）へ移動 → 支給

東北芸術工科大学（山形市）から山形大学（山形市）へ移動 → 対象外

Q3. 支給される交通費とは？

A3. 在学する大学等から単位互換開講大学等まで、通常の公共交通機関を利用した場合に限り支払った交通費の額を支給します。

「通常の公共交通機関」とは、運賃、時間、距離等の事情に照らし、もっとも経済的かつ合理的と認められる通常の経路および方法によるものとします。

高速バスを利用する場合は、往復チケットまたは回数券を購入するようにしてください。
※原則、新幹線、タクシー、自家用車は対象外となります。

Q4. 支給方法は？

A4. 交通費申告書（指定様式）を翌月5日までに大学コンソーシアムやまがた事務局に提出していただき、申告書に基づき月末までに指定口座に振り込みいたします。
詳細は、所属大学等の教務担当窓口で確認してください。